

シラバス

教科名	科目名	学科・学年・類型	単位数
芸術	書道Ⅱ	普通科 3年生	2
教科書	[主たる教材] 書Ⅱ (教育図書)		
副教材等	[副教材] なし		

1 科目の目標

書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

2 科目の内容

- (1) 書体の変遷（文字の歴史）を学ぶことで、文字文化への関心を持たせる。
- (2) 「漢字仮名交じり書」の創作において、様々な技術を駆使して自己表現を試みさせる。
- (3) 刻字作品制作により、書の原初の姿である“刻む”を体験させる。
- (4) 「漢字仮名交じり書」の共同大作を体験することで、音楽と書とのコラボレーションの楽しさ、チームワークで創る書を実感する。

3 授業計画 (総コマ数 35×2=70)

月	内 容	配当 時間	指導上の留意点
4月	・「漢字の書」鑑賞 (甲骨文字)	1 2	各授業において の目標やテーマを 明確に意識させる。 その達成に向けて、
5月	・「漢字の書」臨書 篆書(泰山刻石)、隸書(乙瑛碑・曹全碑) ・「漢字の書」臨書 草書(書譜) ○1学期中間考査		
5月	・「漢字の書」創作 五書体のまとめ	1 2	自分自身を見つめ られるよう配慮す る。 授業中の添削は
7月	・「漢字仮名交じりの書」創作(線質・漢仮調和・運筆リズム・ 構成・イメージと墨色・ムード) ・「漢字仮名交じりの書」創作 自選詩(文化祭作品) ○1学期期末考査		
7月 10月	・「漢字の書」創作(新潟県競書大会作品) ・「漢字の書」創作 刻字 ○2学期中間考査	1 6	行わず、全体指導の 他、範書や机間支援 の個人指導を主に 指導をする。

10月	・「漢字の書」創作 刻字		他者の表現を観ることの大切さを意識させたい。
12月		○2学期期末考査 14	
12月	・「漢字仮名交じりの書」創作 共同制作		
3月		○学年末考査 16	

計 70時間 (55分授業)

4 学習評価

	書への関心・意欲・態度	書表現の構想と工夫	創造的な書表現の技能	鑑賞の能力
評価の観点・規準	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、書の効果的な表現の技能を身に付け表している。	文字や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	①作品内容（テーマ・字形・線質・用運筆） ②制作カード ③取り組み姿勢 ④相互批評	①作品内容（テーマ・字形・線質・用運筆） ②制作カード ④相互批評	①作品内容（テーマ・字形・線質・用運筆） ②制作カード	①作品内容（テーマ・字形・線質・用運筆） ②制作カード ④相互批評 ⑤鑑賞レポート

5 担当教員

書道科教諭

6 担当者からのメッセージ

3000年とも4000年ともいわれる書の歴史。利便性や装飾性、先人のセンスなどによって刻々とかたちを変えてきた漢字に、日本美の象徴であるひらがなとカタカナを併用した我々の文字。そんな現代の文字で綴られた言葉や詩を、書の作品として創造してみませんか。書が自己表現だと、きっと気づくはずですよ。